

# 舞鶴医療センター附属看護学校

## まいづる☆かん GO!!

第23号 発行日：平成30年3月30日

〒625-8502

京都府舞鶴市字行永 2410 番地

TEL : (0773) 63 - 4338 Fax : (0773) 63 - 3014

アドレス kyokan-d@maizuru-mc.jp



皆さん、お久しぶりです！寒さもだいぶやわらぎ、心地よい春風が吹く季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。

この1年を振り返ると様々な学びがありました。今回も実習や行事など私たちの学校生活をご紹介しますと思います！



### 初めての実習を終えて・・・(1年生)

1年生は12月14日から21日まで、対象を取り巻く生活環境及び日常生活上のニーズを理解し、原理・原則に基づいて日常生活援助が実施できるという目的を持って基礎看護学実習Ⅰに行きました。

私が受け持つことになった患者さんは、パーキンソン病を患っており、リハビリをしていました。担当の理学療法士の先生は「学生さんが来てから驚くほど歩けるようになりました。」と言っておられ、私たちのような学生でも患者さんの力の源になることに気付きました。そんな中、歩けるようになった患者さんが「足が痛い。」と訴えているのを聞き、リラクゼーション効果で足の痛みを解消することを目的として足浴を実施しました。リハビリ後、車椅子に座った状態で足浴を行いました。普段はリハビリの後寝てしまう患者さんでしたが足浴中は笑顔が見られ、たくさん話を聞かせてくださいました。今回の実習で学んだことを活かして、その時の患者さんの状態に合わせた援助が実施できるようにしていきたいです。



### 成人看護学実習(2年生)

2年生は1月16日から2月28日まで成人看護学実習(回復期・慢性期)に行きました。回復期実習では頭部外傷により手術を受け、退院1週間前である成人前期のAさんを受け持ちました。頭部外傷による後遺症の出現はなく過ごせていたことから、順調な回復過程を辿っていると考えました。退院後は二次障害であるてんかん発作を予防するために1ヵ月間服薬を続ける必要があり、Aさんは忘れずに内服を続けることができるのか、薬を服用することで生活がどのように変化するのかイメージが湧かずに不安を感じている状態でした。

治療による生活への影響がイメージできるように薬剤師や担当医師による服薬指導の内容を取り入れ、また抗てんかん薬の内服による影響を説明する際には家族と一緒に聞いてもらえるよう調整を行いました。指導後はAさんから「これならやっていけそうかな」という言葉が聞かれました。

今回の実習では指導する側が対象の退院後の生活をイメージできないと対象に合った指導内容にならないことがわかりました。対象の考えのほか、仕事や家庭内の役割、対象をとりまく人間関係などの情報を踏まえ、患者自身にあった指導をする必要性を学びました。



## 先輩！いままでありがとう！（予餞会）

予餞会とは卒業を控えた3年生を送り出す目的で開催される学校行事です。和やかな雰囲気、在校生や卒業生が学校生活の映像を流したり、看護学生の学校生活あるあるネタを題材にした劇を披露するなどさまざまな出し物を行います。今年も思い思いに出し物を考えて先輩の新たな門出をお祝いするため、感謝の気持ちを込めて開催しました。1年はジェスチャーゲーム、2年生は先輩方が学校生活の思い出を振り返る内容を盛り込んだ質問ゲームと動画メッセージ、3年生はロシアンルーレットなどを行いました。

3年生から今までお世話になった先生方に感謝の気持ちを伝える手紙を読んで渡される場面では、思わず涙を流す3年生の姿がありました。送り出す私たちも3年生とのたくさんの思い出があり、私たち在校生に3年生の皆さんが残してくださったものを今度は私たちが伝えていけるよう頑張っていきたいと感じました。



ロシアンルーレットの様子



お世話になった先生へ…



## 看護師へ第1歩！！（3年生）

3月7日に第68回卒業証書授与式が来賓、実習病院関係者、講師、在校生、ご家族の方々および学校関係者が見守る中執り行われ、勉学や実習に励んだ卒業生33名が学び舎を巣立っていきました。キャンドルサービスでは昨年卒業した先輩からナイチンゲールの灯を受ける3年生の姿は凛々しかったです。

### 卒業生の声

卒業式で式歌の時、在校生の歌声を聞き感動しました。来賓、学校長の祝辞を聞き、4月から看護師として働いていく事を改めて実感し、今後も頑張っていこうと思いました。

### 在校生の声

先輩方が卒業されることは寂しいですが、自分たちも先輩のようになれるよう頑張っていきます。春からも68回生らしく、頑張るときには頑張っ明るく賑やかに新しい環境でもご活躍されるよう応援しています。



## 私たちの第2の家～しおん寮（学生寮）へようこそ～

当校は在校生の半数近くの学生が寮で生活をしています。  
今回は私たちの寮の生活についてほんの一部ですが紹介します。



しおん寮へ  
ようこそ!!



食事は昼・夕が給食です。  
バラエティに富んだメニューで  
楽しみにしています。  
昼食は通学生も注文できます!

この日のメニューはラーメンと  
かやくご飯!

寮の入口です。学校まで渡り廊下で繋がっている  
ので雨の日も濡れずに登校できます

部屋は4人部屋を2人または1人で  
使用しています。建物は古く壁も薄  
いため、音には気をつけています。  
共同生活を通して他者への思いやり  
や気遣いの気持ちが育ちます。



生活しやすいよう工夫して使っています。  
部屋の使い方はその人の個性がよく出ています。



しおん寮では、入寮、退寮など節目に学年を超えた交流の  
機会を設けています。今回は今年行った送別会のことを紹  
介します。

送別会では、今までお世話になった感謝の気持ちを伝える  
会になるよう1、2年生が協力して運営を行いました。先  
輩に3年間を通しての実習での学びや学校生活、寮生活に  
ついて質問したところ、実習は全ての学習内容とつなが  
っているため積み重ねが大切であること、看護を行う上で対  
象理解が重要であるというアドバイスをもらいました。先  
輩方からのアドバイスをもとにこれからの実習や学校生活  
を1日1日頑張っていこうと思いました。



先輩を囲んで、写真撮影!!



## 今までお世話になった先生にインタビュー

今回は本年度で舞鶴医療センター附属看護学校を去られる寺田先生にインタビューに答えていただきました！！



教員をされていて、やりがいを感じるのはどんなときですか？

卒業生が自分の考えを持って看護をしている場面に出会ったときです。成長を感じて、より一層教育に携わりたいと思います



この学校での一番の思い出は何ですか？

それぞれの学生との関わりが思い出になっているので、一番は決められません。



舞鶴に来られて先生が思う舞鶴の魅力って何ですか？  
また、先生が舞鶴で好きな場所はありますか？

舞鶴の魅力は、自然が多くゆったりしているところだと思います。  
五老タワーから眺める景色が好きです



在校生に向けてメッセージをお願いします！

他人を思いやる気持ちを持ちながら、学校での学びを1つ1つ積み重ねていってほしいと思います。



寺田先生のように他人を思いやる気持ちを持ち“患者さんにとって”を常に考えながら看護できるよう、日々の学習や実習に励んでいきます。今までありがとうございました。



離任式終了後、寺田先生を囲んで…

## 学校公開のご案内

平成 30 年度もオープンキャンパスを開催します。看護師という仕事に関心のある方、当校に興味のある方、学校の雰囲気を知る機会となりますので是非一度参加してみてください。皆さんにお会いできることを楽しみにしています！

<日程>

7月21日(土)、7月26日(木)、8月9日(木)、8月25日(土)、9月15日(土)、3月9日(土)

※詳細は近日ホームページに掲載します。また、各学校へ案内を送付致しますのでご確認ください。

この学校新聞「まいづる☆かん GO!!」はホームページでも観覧できますので、一度ホームページも見て下さいね。

アドレス (<http://www.hosp.go.jp/~maizuru/school>)